

2026年  
2月21日(土)  
13:00-16:00

# みんなと倶楽部・掛塚 10周年記念集会

## 「遠州の小江戸」を再び

～受けつぐ町・育てる未来～

会場 なぎの木会館大ホール

記念講演  
「徳川家康と豊臣秀吉～掛塚を中心に～」 富田泰弘 氏  
ロビー展示 - 写真・絵画展  
「遠州の小江戸」のおもかげ

みんなと倶楽部・掛塚は、来年の4月で10周年を迎えます。

10年前、商店の閉店が相次いで淋しくなった掛塚のまちに、賑やかだったころの廻船問屋、旧津倉家の住宅・敷地が寄贈されました。私たちは、湊町掛塚のシンボルであるこの住宅を掛塚復興の拠点として、町の活気を取り戻す活動を続けてきましたが、住民の皆様やその他たくさんの方々のご理解とご協力のおかげで10年目を迎えることができました。今年度は、「いわた大祭り」が掛塚でも開催され、地域おこし協力隊の皆さんが掛塚に拠点を置いてまちづくりを進めてくれており、さらなる進展が期待できそうです。

このような中で、来春2月21日(土)には、10周年の記念集会を開きます。掛塚が輝いていた湊町の時代をふりかえり、戦国時代の研究で著名な、磐南文化協会理事の富田泰弘さんから秀吉、家康時代の掛塚の歴史を伺います。そして、私たちが活動してきたこの10年を総括するとともに、これからの掛塚がどんな可能性を秘めているのか、またどんなまちにしたいのかを、先日行われたワークショップの結果をふまえて協力隊員に報告していただきます。尚、ご来場の皆様からもご意見をいただき議論を深めていきたいと思っておりますので、是非会場に足を運んで、掛塚の未来を語っていただけますようお願いいたします。



例年と同じように、旧津倉邸にて「新年もちつき会」を行います。搗きたてのお餅を食べていただけますので、皆様お誘い合わせてご来場ください。

11時から30分おきに3回ほど搗く予定です。お餅がなくなり次第終了とさせていただきますので、お早めにお出かけください。

来年もやります  
「新年もちつき会」

2026年  
1月17日(土)  
11:00-13:00



My hometown Kaketsuka

# みんなと倶楽部

MINNATO CLUB  
掛塚  
ESTD.2016

第39号

P4	P3	P2	P1
ちよつといけ? 「磯部節子さん」(新町)	写真会作品展を開催しました	歴史調和と社寺・古墳と探訪「御厨・鎌田は歴史のまほろば」	みんなと倶楽部・掛塚10周年記念集会のお知らせ 来年もやります「新年もちつき会」

# ちよつといけ?

磯部節子さん 84歳(新町)



節子さんは2001年から中日新聞への投稿を続けてこられました。「投稿の会」の仲間の勧めもあり、これまでに掲載された新聞の切り抜きをまとめた本「ありがとう、そして、ありがとう」を出版されました。

今回は掲載された投稿の出来事や、節子さんの歩みについて改めてお話を伺いました。

## 〇絵を描くことや投稿を始めたきっかけは?

私ね、子供の頃から絵を描くことが好きだったんです。中学から美術部に入って高校で描いた油絵が展覧会で入選したときは嬉しかったですよ。勤め先の松菱百貨店の美術部では日展の先生が毎月教えるに来てくださって、大きなキャンバスに人物を描いたりして本当に楽しかったです。(女の子とテーブルとワイングラスを描いた作品が浜松店で初入選されたそうです。)

※松菱百貨店で20年間、ニチイ店内に喫茶店を開き12年間、西武百貨店で6年間、その後58歳まで遠鉄百貨店で、百貨店ではアパレルのお仕事をされてました。

58歳の時に職場の朝礼中に具合が悪くなって・・・、脳梗塞で即入院でした。退院した後も一年ぐらいは言葉ももどかしいし、歩いてもふらついたりして。

退院したら描きたかった油絵は、絵の具のキャップも開けられないし、筆ももどかしくて。家事も同じでこれまでの日常のことが全くできなくなったのがショックで。そんな時に中日新聞の『来年こそは』という投稿テーマを見つけて『来年こそはもう少し元気になるたい』という思いを書いたんです。それが最初の掲載でした。

## 〇投稿やお手紙を通じて繋がった「縁」

▽「道の駅くま水車の里」通称「くまの里」での展覧会、そのきっかけは?

「くまの里」の駅長さん(現在は初代名誉駅長がね、高校の同級生だったんです)文化功労章を受章して新聞に載って、「あら、三和子さんだ!」って嬉しくなっちゃって、中日新聞にお祝いの投稿をしたら連絡をくださった。そこからまた交流が始まりました。

新聞に掲載された私のイラストを見て「くまの里で展覧会やらない?」って誘ってくださった。30点ほど描いて展示したら、「この絵ほしんです」って方がいて。くんまの里まで来てくれた方が喜んでくださるならと差上げることにして、付箋をつけていったら、展覧会が終わるころには全部の絵に付箋がついちゃって。

翌年、絵をもらってくれた方から「あの方の絵、今年はないんですか?」って言ってもらえたとか。また描ける?っていつからね、私ものぼせ上ってまた描いて、結局ね、3年続きました。

## ▽女優の浜美枝さんと交流が

日本人初のボンドガールの浜美枝さんの本を読んで、丁寧な暮らしに共感して30年くらい前にお手紙を書いたら、お返事くださってね。それがずっと続いて

自分の書いたものが新聞の活字になるって、病気が治つちやうくらい嬉しくてそれが病みつきに。(笑)それから、ちよつと嬉しいことがあるたびに書くようになりました。

新聞に掲載されると図書券をくださるんですよ。(節子さんは終戦後の図書室がなかった時代のことを思い出して、頂いた図書券が貯まると子供たちに本を買って下さいね。)と西小学校へ寄付されています。)

だからね、最後の食事って言ったらちよつとお塩が入ったぐらいの「白かゆ」でいいなと思ってます。

皆さんに助けられて、84歳の誕生日を迎えられました。本当に「ありがとう、そして、ありがとう」ですね。私はね、ずっと「ありがとう」に支えられて生きてきました。



憧れのアランドロンのサイン会。握手もしてもらって思わずにっこり。



フラワーパークにて、穏やかな母娘の時間。お母さまとの大切な思い出ですね。



喜寿のお祝いにお孫さんからの嬉しいサプライズ。ミッキー＆ミニーに会ってテンションが上がる節子さん。

のりこ&さゆり

# 歴史調和と社寺・古墳と探訪

## 「御厨・鎌田は歴史のまほろば」

十一月六日(木)13時30分、医王寺本堂には多くの歴史愛好家が集まっています。『みんなと倶楽部』のメンバーも十数名参加していました。

県文化財保存協会の名倉慎一郎さんの挨拶から始まり、歴史、文化にも大変関心をお持ちの草地利市長より開催のお祝い兼ねて熱意ある挨拶がありました。さらに今回のテーマ『御厨は歴史のまほろば』について元袋井市文化財保護審議会会長五島康司氏がとても丁寧に説明してくださり、皆さん聴き入っていました。『まほろば(注釈)』という言葉に感動すら感じ、『万葉集』を思い起こしました。

いよいよ皆さんで歴史探訪の旅に出発です。

『鎌田山医王寺』の歴史は古く天平時代に遡り、平安時代には広大な境内に本堂、金堂、講堂、五重塔、三重塔、鐘楼塔、仁王門、三十六ヶ坊の末寺がありました。かつて敷地内には明治五年に建築された日本最古の木造洋式三階校舎『坊中学校』がありました。小堀遠州の作とも言われる枯山水庭園は一幅の山水画を見るようです。

### 『JR御厨駅へ』

医王寺の東道路を北に向かって歩いていくと目の前に令和二年三月開業したJR御厨駅が見えてきました。南口には堂山古墳出土の鞍形埴輪のミニチュメントがあります。

### 『鎌田神明宮へ』

神明中学校を望みながら歩くこと十分少々で鎌田神明宮の鳥居に到着。ここは伊勢神宮外宮と同じ豊受姫大神が祀られています。二十年毎の式年遷宮と六十年毎の大式年遷宮が実施されます。次回の大式年遷宮は二〇三三年に予定されている旨、神主さんより説明がありました。

鎌田時代より幼児虫封じ神社、そして現代にも御鎌田と称する田が有り拜殿には多くの御鎌が崇敬者祈願御札として奉獻されています。医王寺も神明宮も苔庭がとても素敵でした。

### 『松林山古墳へ』

鎮守の杜を静かに歩み神明宮の裏道を辿ると神明中学校のグラウンドに至り、道を渡ると小高い丘が出てきました。ここが国指定史蹟、御厨古墳群の一つ松

# 今年も津倉邸庭園ギャラリーで 写生会作品展を開催しました！



十月十八日・十九日、掛塚祭りのおはやしが奏でられる絢爛豪華な屋台が町の人々に練り引かれています。国の登録有形文化財に登録されている旧津倉住宅の前でも、砂町の屋台がお囃子を響かせています。

公開されている旧津倉邸の見学にも近隣・遠方から多くの人が訪れて、みんなと倶楽部掛塚会員の説明のもと、江戸・明治に掛塚湊で繁栄したあとを偲んでいます。

この旧津倉邸の夏休み写生会が始まり4年目となり、子供たちが描いた作品を多くの人に見ていただくとうと企画した作品展も4年目となりました。夏休みの土曜日の半日を使って写生した作品は、二学期の始まりに学校に提出して見ていただいていたから、掛塚祭りの屋台運行やおはやしが響くなか、津倉邸庭園ギャラリーにて開催されました。

小学生は、大きな屋根の建物や、庭の樹木や、花や、水まきで現れた虹を見て感じたものを自由に絵で表現しました。

中学生は、伊豆石の蔵や樹木を画面構成し質感・色感を出して描きました。成人は、確かな建物表現や物語を感じる作品になっています。

みんなと倶楽部掛塚会員も、阿修羅など御仏の細密鉛筆画・掛塚の町などを描いた水墨画・旧掛塚郵便局舎や伊豆石の塀の油彩画が出品されました。

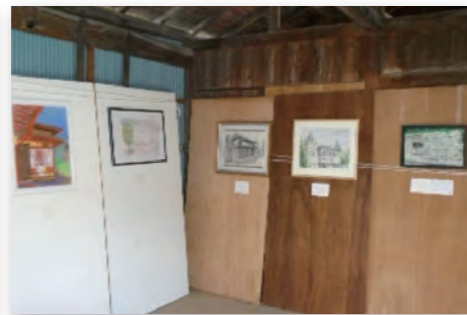
小学生・中学生・成人の一堂に展示された作品を見ると、年代は違ってもそれぞれに美を愛し、描きたい気持ち伝わってきます。

鑑賞された方は、絵の中に津倉邸の存在が感じられて改めて掛塚のことを思います。と話されていました。また、仏像画の細密さに感動されていました。今回は、中学生と一般成人の作品が加わり一歩前進した作品展になりました。

この写生会と作品展が、これからの掛塚の町中プロジェクトのイベントに大きく広がることを期待します。

竜洋西小学校には写生会の周知と提出された作品の学校の展示や集約等のご協力をいただきました。ありがとうございました。

福長昇



「日月日銘三角緑唐草文帯四神四獣鏡」

注釈  
『まほろば』とは日本の古語で「素晴らしい場所」「住みやすい場所」という意味。

鵜藤孝

林山古墳です。全長107m、高さ10.6m、4世紀中頃の東海地域を代表する前方後円墳にて石室からは多くの武器、武具類、農機具が発見されました。案内された文化財課職員さんが朝早く古墳周辺を清掃して下さいました。

### 『三白山連城寺へ』

松林山古墳を下る事700m、田園風景を楽しみながら新幹線の下を潜ると三白山連城寺です。ここは平清盛とその長男重盛(天台宗寺院建立の供養塔があり、中泉代官の大草太郎左衛門(曹洞宗寺院再興)とその一族の墓があり、毎年供養祭が行われています。

明治十九年の鉄道工場中に発見された『日月日銘三角緑唐草文帯四神四獣鏡』は貴重な文化財です。ツルハシによる穴は偶然の産物と言えらと思います。

小春日和の中、素晴らしい日歩きになりました。関わってくださった皆さんに感謝しつつ、我が掛塚もいつまでも『まほろば』の地であるように願いつつ家路へ。

## 会員・賛助会員・ボランティア会員募集！

「みんなと倶楽部・掛塚」は、湊町掛塚の歴史を刻んだ貴重な文化財を守り、郷土の文化遺産として後世に引き継いでいくことができるよう、旧津倉邸の維持管理に協力しながら、掛塚地区が活気のあるまちになるための活動を展開していこうと考えています。私たちと一緒に活動していただける方を募集しています。是非、ご参加ください。

正会員

運営・企画に携わっていただきます。年会費 3,000円をお願いします。

賛助会員

会を側面から支えて頂きます。会への行事も自由にご参加ください。1口 1,000円の年会費となります。

ボランティア会員

会の事業・イベントに、いつでも気軽にご参加ください。会費はありません。小・中・高校生の方も気軽に参加してください。

振込先はこちら

静岡銀行 竜洋支店  
普通預金 0439697  
みんなと倶楽部地域づくり  
会計 新村京子

